

# 共に生きる石巻を作り出す連続公開講座

私たちは「共に生きる石巻を作り出す連続公開講座」を行っています。  
この講座では、障がい児・者と健常者が共に生きる地域社会を構築していくために行動してこられた方々を全国からお招きし、これから私たちがく 誰にとっても住みよい街・石巻 > を作っていくための手がかりにしていくことを目指しています。

## 第3回「共に生きる地域を作り出す」

12月2日(日) 13:30~16:00

講演者 山崎 恵さん (北海道)

「北海道 D P I 北海道ブロック会議」理事

会場：石巻市保健相談センター(石巻市鑄銭場1-27)

参加費：無 料

\* 駐車場に限りがあります。停められない場合は有料駐車場をご利用ください\*

\* 託児の必要な方は、裏面の連絡先まで事前にご連絡ください\*



「おかしいことにはおかしいと、声を上げる人があちこちで

出てきたら、今の社会も少しずつ変わっていくはず …」

北海道で自立生活を送りながら障がい者支援活動に従事している山崎恵さんと、これから自立生活を目指していく石巻の当事者が「障がい者が地域で暮らすためには何が必要なのか」「障がい者が暮らしやすい地域社会の在り方とは」をテーマに意見を交換しながら「障がいがあってもなくても、誰にとっても住みよい街」について考えます。

◆主催：被災地障がい者センターみやぎ

◆後援：NPO法人障碍児と共に歩む会・石巻重症心身障害児(者)を守る会

NPO法人輝くなかまチャレンジド 地域活動支援センターこころ・さをり

石巻日日新聞・石巻かほく・ラジオ石巻FM76.4

## 山崎 恵 さん

1979年2月、北海道留萌市で出生。分娩時の障害により、頸髄損傷となる。  
1991年中学校入学時に特殊学級措置となり、その特殊学級入級取り消しを求め提訴する。  
1998年地元の高校を卒業し、福祉系の大学に入学して親元を離れ一人暮らしをする。  
2002年大学を卒業し、自立生活センターに就職し、現在に至る。  
自立生活センターに就職してから自立生活に関わる当事者運動も行っている。

現在、「自立生活センターIL-ism」に勤務しながら、DP | 北海道ブロックの教育関係の担当理事を務めていらっしゃいます。

また「インクルネットほっかいどう」の設立とともに代表に就任。

最近では、特にインクルーシブ教育関係や地域で医療的ケアを受けながら生活する障がい者の問題などの活動に取り組んでいる。

## 「被災地障がい者センターみやぎ」について

2011年3月、東北地方太平洋沖地震で被災した障がい児・者への支援を目的に、同年3月31日、阪神淡路大震災を教訓に設立された「NPO法人ゆめ風基金」及び「東北関東大震災障害者救援本部」の全面的なバックアップを受け、14の障がい者支援団体が団結して「被災地障がい者センターみやぎ」を設立しました。

その後は、宮城県内において、被災状況調査、ニーズの把握、金銭的・物的・人的支援を行い、現在は仙台市、石巻市、南三陸町の三つの拠点で事業を進めています。

ここ石巻では事務所を蛇田に置き、障がい当事者を含むスタッフが、障がい児・者への支援、生活しやすい街作りのための調査・広報活動等を継続して行っています。私たちは、災害時において障がい児・者が犠牲になることがない街、障がい児・者と健常者が共に生きていく街、そんな街作りを目指し石巻地域の再生に取り組んでいます。

第4回 「震災後を生きる」 2013年 3月10日(日)

講演者 牧口 一二さん(大阪府 NPO法人ゆめ風基金代表理事)

\*13:30から石巻市保健相談センターで開催いたします。

\*この連続公開講座は「公益財団法人三菱商事復興支援財団」の「復興支援助成金」を受けて開催しています。

◆連絡先◆ TEL : 022-746-8012(仙台) 0225-25-5388(石巻)

MAIL : [teesaanangel@yahoo.co.jp](mailto:teesaanangel@yahoo.co.jp)